



新しい年がやってきました。今年は元旦から辛いニュースが相次ぎ、心重く身が引き締まる年明けとなりました。大きな災害や世界で起こる痛ましい戦禍を前に無力さを感じるばかりです。しかし、それでも起こっている事実を見つめ、問い、語り、自分の身近で出来る事をこつこつとやり続ける。そうすることが、ちいさくとも、未来へ向け、何かにつながり、何か動いていくきっかけになると信じたいと思います。

保育所は、かけがえのない尊い命、一人ひとりが毎日をここで遊び、暮らす場です。いつもしている日々のことがこの先につながっていく。日常を大切に振り返り、考え、生かし、乗り越えながら力としていかねば…と思います。

一人ひとりの声を集め、みんなで考え行動につなげた時、より良き道は開かれ築かれていきます。先人に学び、今年も保育所の理念「共に学びつながり育ち合う」の根っこをしなやかに丈夫に育て、子どもたちの笑顔が生まれゆく日々を大事にしていきたいと思います。どうぞ本年もご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

～安全面についてのお願い～

- 送迎時には門の**内側・外側とも必ず鍵**を閉めてください。
- 未満児クラスのテラスから玄関に通じるドアの鍵は必ず閉めてください。
- 駐車場では、周りをよく確認し、停車・発進してください。
- 兄弟・姉妹関係で複数の保育室に迎えに行かれる場合は、先にお迎えに行ったお子さんと一緒に行動してください。
- 門を出る時には、他のお子さんが一緒に出てしまうことがないようにご注意ください。
- お迎え後は、子どもたちの気持ちも、お家モードに切り替わり開放的になりがちです。思わぬ怪我や事故につながるリスクも高まります。お迎え後のお子さんから目を離すことのないようお願いいたします。
- お布団等の荷物が多い時等、安全な登降園が難しいと思われる場合は、お子さんを保育所に連れて行った後に荷物を運ぶ、荷物を運んでからお迎えに来る等、安全な方法をとってください。
- 保育所では活動の変わり目や、部屋移動をした際には、人数確認や名前を読んで点呼を行っています。またコドモンアプリは、園児の所在確認として園全体で共有されています。送迎に関わる方には、コドモンの打刻についてお知らせください。QRコードがない方は、手で打刻することが出来ますのでお知らせください。タブレットが出ていない時には、ファイルしている用紙にご記入ください。お手数をおかけしますがよろしくお願い致します。
- お困りのことがある時やお気づきのことがある時には、遠慮なく職員に声をかけお知らせください。よろしくお願い致します。

～ お正月遊び ～

1月は、獅子舞や初炉式などの伝統行事の他、凧あげ、コマ回し、羽根つき、かるた、すごろく等、正月遊びも楽しんでいきます。また寒い時期には、毛糸を使ってマフラーを作ったり、年長さんは本物の針と糸を使ってお手玉作りも始めます。

体の隅々を使い感覚に働きかけ、考える力を引き出していく遊びや、繰り返し練習する中でだんだん出来ていくことを実感する遊び、文字や数に触れる楽しさを味わう遊び... 子どもたち自らが「やりたい」と向き合う遊びには、手ごたえがあり面白さがあり、学びへの基礎となる力がいっぱいです。

なかなか回せなかったコマを回せるようになった時の嬉しさ、かるたで負けた悔しさ、トラブルや涙、葛藤...そして共感。

嬉しい就学や進級に向かって、友だちと一緒に遊びながら心も体も考える力もじっくり太らせていきます。



昨年の12月、中国新聞の読者の広場に卒園児の記事を見つけました。

「ほ育しのゆめかなえたい」という題名の文章の終わりには『もしほ育しになれば、わたしの通っていたほ育しの先生になりたいなと思っています。これからゆめに向かってがんばっていきたいです。』と記されていました。

保育所での日々を良き思い出とし、将来の夢として記してくれたことを心から嬉しく、子どもたちの声に応えることが出来る保育所でありたいと、襟を正しました。新聞はラミネートで保管。保育所の宝物が一つ増えました。

★ 中国新聞ファミリーくれ（1月31日発行）の一面にカラー版で、後藤保育所の記事が掲載されます。

★ 宮原映像フェスティバル（1月30日14:40~15:45）にて後藤保育所のスライドショーが上映されます
写真の一部はカレンダーとして地域の学校関係等に配布されるそうです。

